

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ZOA

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長嶋 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長

(氏名) 伊井 一史

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	5,938	1.1	2	△21.9	2	17.0	△22	—
22年3月期第2四半期	5,870	△11.5	3	△94.2	1	△96.9	0	△97.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△1,045.90	—
22年3月期第2四半期	32.23	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	4,735	1,978	41.8	93,995.48
22年3月期	4,575	2,053	44.9	96,702.55

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,978百万円 22年3月期 2,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	2.7	110	392.6	106	421.9	46	73.9	2,175.34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 22,965株 22年3月期 22,965株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,916株 22年3月期 1,727株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 21,109株 22年3月期2Q 21,502株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第2四半期累計期間) .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円高の進行に歯止めがかからず、企業の業績は低迷しており、所得の減少と雇用情勢の悪化がより一層、深刻化している状況となっております。これら要因により、個人消費は非常に冷え込んでおり、小売業を営む当社にとっては厳しい経営環境が続いております。

パソコン業界におきましては、電子情報技術産業協会（JEITA）の発表によりますと、当第2四半期累計期間におけるパソコン本体の国内出荷台数は前年同期比22.9%の増加、出荷金額は前年同期比16.7%の増加と前年を上回る実績で推移しています。これは、Windows 7の定着による買い替え増加や、デスクトップパソコンの大画面化・地デジ化によるAV機能強化など魅力ある商品の発売が主な要因と考えられます。

しかし、以前より大きな影響を受けている家電エコポイント制度の延長が決定したことで、今後もパソコン業界低迷の懸案事項となっております。また、デフレの影響を受けて販売単価は下降傾向にあり、利益確保が非常に難しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では様々な販売促進施策を実践することで、前年同期を上回る売上高を計上することができました。その他にも、既存顧客のニーズに応えられるように、品揃えの強化に取り組んでまいりました。特に消耗品である用紙やケーブル類などを中心としたサプライ関連と、販売が増加傾向にあるLED関連、これまで扱っていなかった日用雑貨品などに注力してまいりました。また、既存店のレイアウト変更によるリニューアルオープンセールの実施を継続的に行い、お客様にも好評を得ており、売上高の増加につながっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高5,938,061千円（前年同期比1.1%増）、経常利益2,031千円（前年同期比17.0%増）、四半期純損失22,077千円（前年同期は四半期純利益693千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて159,546千円増加し、4,735,349千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が219,050千円増加し、差入保証金が25,172千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前期末に比べて234,804千円増加し、2,756,838千円となりました。その主たる要因は、短期借入金300,000千円増加し、長期借入金158,996千円減少したこと等によるものであります。

純資産については、前期末に比べて75,258千円減少し、1,978,510千円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は41.8%、1株当たり純資産額は93,995円48銭となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて219,050千円増加し、1,010,714千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、108,182千円の収入超過となりました。その主たる要因は、仕入債務が111,638千円増加したこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、23,388千円の収入超過となりました。その主たる要因は、差入保証金の回収による収入11,351千円等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、87,743千円の収入超過となりました。その主たる要因は、短期借入による収入300,000千円、長期借入金の返済による支出258,996千円等によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績予想に関しましては、平成22年5月14日付「平成22年3月期決算短信（非連結）」にて公表いたしました業績予想を修正いたしました。業績予想の修正内容につきましては、平成22年10月27日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想に関しましては、現在当社が検討・実施している販売施策や品揃えの強化等により十分回復可能な範囲と考えており、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想は変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と異なる

結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより営業利益及び経常利益はそれぞれ635千円減少し、税金前四半期純損失は13,880千円増加しております。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,010,714	791,664
売掛金	274,593	239,906
商品	1,870,116	1,782,644
貯蔵品	4,763	4,189
その他	133,896	249,278
貸倒引当金	△4,611	△4,264
流動資産合計	3,289,472	3,063,418
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	328,519	347,901
有形固定資産合計	982,923	1,002,305
無形固定資産		
ソフトウェア	18,976	27,254
その他	9,759	9,837
無形固定資産合計	28,736	37,092
投資その他の資産		
差入保証金	379,160	404,332
その他	55,056	68,655
投資その他の資産合計	434,216	472,987
固定資産合計	1,445,876	1,512,384
資産合計	4,735,349	4,575,803
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	849,201	737,563
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	413,352	476,342
未払法人税等	13,206	12,840
賞与引当金	38,408	42,609
ポイント引当金	15,444	36,729
その他	106,765	105,260
流動負債合計	1,736,378	1,411,344
固定負債		
長期借入金	923,493	1,019,500
長期未払金	24,249	24,249
退職給付引当金	72,717	66,940
固定負債合計	1,020,460	1,110,689
負債合計	2,756,838	2,522,034
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,457,567	1,522,121
自己株式	△134,795	△124,091
株主資本合計	1,978,510	2,053,768
純資産合計	1,978,510	2,053,768
負債純資産合計	4,735,349	4,575,803

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,870,994	5,938,061
売上原価	4,919,424	5,007,010
売上総利益	951,570	931,050
販売費及び一般管理費	948,414	928,587
営業利益	3,155	2,462
営業外収益		
受取手数料	7,296	6,529
受取保険金	1,450	1,829
その他	407	492
営業外収益合計	9,154	8,851
営業外費用		
支払利息	9,866	8,900
その他	707	382
営業外費用合計	10,573	9,283
経常利益	1,736	2,031
特別損失		
固定資産除却損	—	1,184
減損損失	—	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,245
特別損失合計	—	14,686
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,736	△12,655
法人税等	1,043	9,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	693	△22,077

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	1,736	△12,655
減価償却費	36,074	28,996
減損損失	—	257
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22	347
賞与引当金の増減額 (△は減少)	789	△4,200
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6,263	△21,285
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,996	5,777
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△23,099	—
受取利息及び受取配当金	△88	△66
支払利息	9,866	8,900
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,842	△34,137
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,538	△88,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	△239,769	111,638
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,245
長期未払金の増減額 (△は減少)	24,249	—
その他	△15,427	117,348
小計	△240,812	126,120
利息及び配当金の受取額	88	66
利息の支払額	△9,610	△8,582
法人税等の支払額	△25,307	△9,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	△275,641	108,182
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,648	△800
無形固定資産の取得による支出	△911	△660
差入保証金の差入による支出	△5,540	△60
差入保証金の回収による収入	9,993	11,351
子会社の清算による収入	43,481	—
その他	△728	13,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,646	23,388
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	180,000	300,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△258,996	△258,996
自己株式の取得による支出	△18,385	△10,704
配当金の支払額	△54,860	△42,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,241	87,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	△432	△264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,668	219,050
現金及び現金同等物の期首残高	560,081	791,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	173,412	1,010,714

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。